

2022 年度 大規模災害対策に関する現地調査
『北海道太平洋沿岸域における地震・津波対策の取り組みに関する現地調査』

実 施 要 項

1. 開催趣旨

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声を聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してきた。

そこで、今年度は北海道太平洋沿岸における津波対策の現状ならびに対策事業の実施方針等について、座学ならびに現地踏査にて学ぶとともに、平成 30 年北海道胆振東部地震 (M6.7、2018 年 (平成 30 年) 9 月 6 日) の被災地の復興状況を調査する。

2. 開催概要

(1) 主催

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)

(2) 実施日時 : 2022 年 10 月 5 日 (水) ~ 8 日 (土) (3 泊 4 日)

(3) 調査実施場所

- ・ 苫小牧市~釧路市にかけて北海道太平洋沿岸域
- ・ 平成 30 年北海道胆振東部地震の被災地

(4) 現地調査の内容

令和 2 年 4 月に、国が「日本海溝・千島海溝沿いの巨大地震モデル」を公表したことを受け、北海道では、北海道防災会議地震火山対策部会地震専門委員会 (以下「道地震専門員会」) に「津波浸水想定設定ワーキンググループ」 (以下「道津波 WG」) を設置した。国が示した考え方を基本として、津波 WG で、津波シミュレーションの設定条件等の検討を行い、2021 年 (令和 3 年) 7 月 19 日に太平洋沿岸で「最大クラスの津波」が発生した場合に想定される津波高、浸水域等を示した津波浸水想定を設定、公表した。

そしてこの結果を基に、警戒避難体制を特に整備すべき区域として、津波防災地域づくりに関する法律 (平成 23 年法律第 123 号) 第 53 条に基づき「津波災害警戒区域」を指定し、2022 年 6 月 13 日時点で稚内市から羅臼市にかけての沿岸 70 市町村が指定されている。

沿岸地域に居住地や社会活動拠点が集中している北海道の太平洋沿岸域は低地が多く、津波の遡上域はかなり内地にまで及び、その被害は甚大であると予想される。これは南海トラフに直面する西日本沿岸域とも酷似していることから同地域における津波対策の取り組み、事業の実施方針は参考となると考えられる。

そこで、今年度は北海道太平洋沿岸における津波対策の現状ならびに対策事業の実施方針等について、座学ならびに現地踏査にて学ぶとともに、平成 30 年北海道胆振東部地震 (M6.7、2018 年 (平成 30 年) 9 月 6 日) の被災地の復興状況を調査する。

座学としては、道地震専門員会と津波 WG の委員を務められた北海道大学大学院の谷岡勇市

郎教授と中嶋唯貴准教授による講演を、また、自治体からは甚大な津波被害が予想され、2022年3月11日に新たに津波対策警戒区域に指定された釧路市殿からの講演を拝聴する。

また、札幌市(苫小牧市)から釧路市までの沿岸域の現地踏査を行い、浸水予測結果と現地の実地形との検証(津波浸水遡上のイメージのすりあわせ)ならびに、近年津波被害を受けた十勝港(広尾町)と大津漁港(豊頃町)における津波痕跡や津波対策の状況調査を行う。

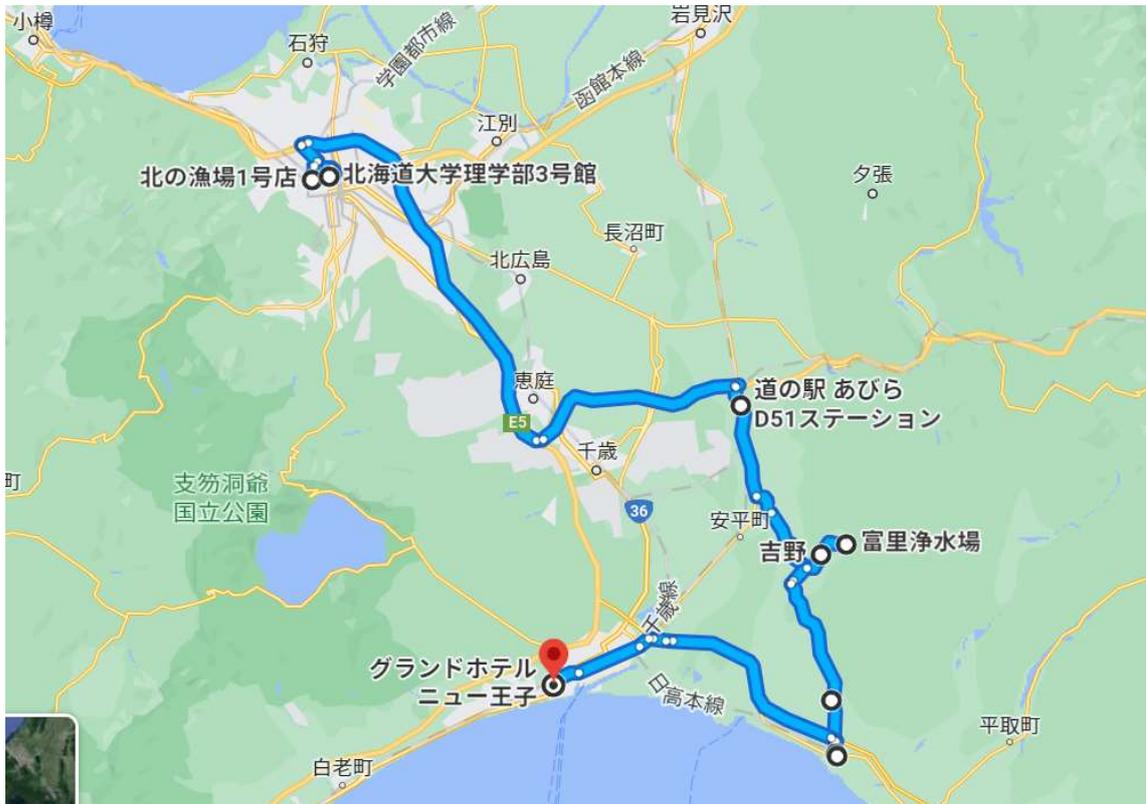
さらに、むかわ町、厚真町を対象に、平成30年北海道胆振東部地震(M6.7、2018年(平成30年)9月6日)の被災地の復興状況を視察する。

(5)行程・スケジュール(案)

- 10月5日(水) 札幌市内(泊)
- 10月6日(木)
 - ・9:15 北海道大学集合(理学部3号館)
※理学部3号館アクセス(https://www.math.sci.hokudai.ac.jp/contact/venue_h.php)
 - ・9:30~12:00 北海道大学(理学部3号館2F講義室)にて講演会
講演① 『千島海溝型巨大地震による想定津波と対策』
谷岡勇市郎 氏(北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター 教授)
講演② 『地震・津波による人的被害の季節変動性と減災対策』
中嶋唯貴 氏(北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン専攻 准教授)
 - ・14:30~17:00 平成30年北海道胆振東部地震 被災地調査(むかわ町、厚真町)
 - ・18:00 苫小牧市(泊)
- 10月7日(金)
 - ・8:15~18:30 苫小牧市(発)→広尾町(十勝港)→豊頃町(大津漁港)→釧路市内(泊)
※十勝港、大津漁港:津波痕跡、津波対策事業の状況調査(谷岡教授による解説)
- 10月8日(土)
 - ・9:00~10:30 釧路市役所訪問(講演会・防災庁舎視察)
講演③ 『釧路市の津波災害対策』
佐々木和史 氏(釧路市総務部防災危機管理課 防災危機管理監)
石田貴志 氏(同課 避難対策調整主幹)
島田勇氣 氏(同課 課長補佐)
 - ・10:40~12:00 和商市場(自由行動)
 - ・12:45 釧路空港解散(13:45~14:35発の便で帰宅)

3. 調査地点及び経路の概要

(1)2022年10月6日(木)



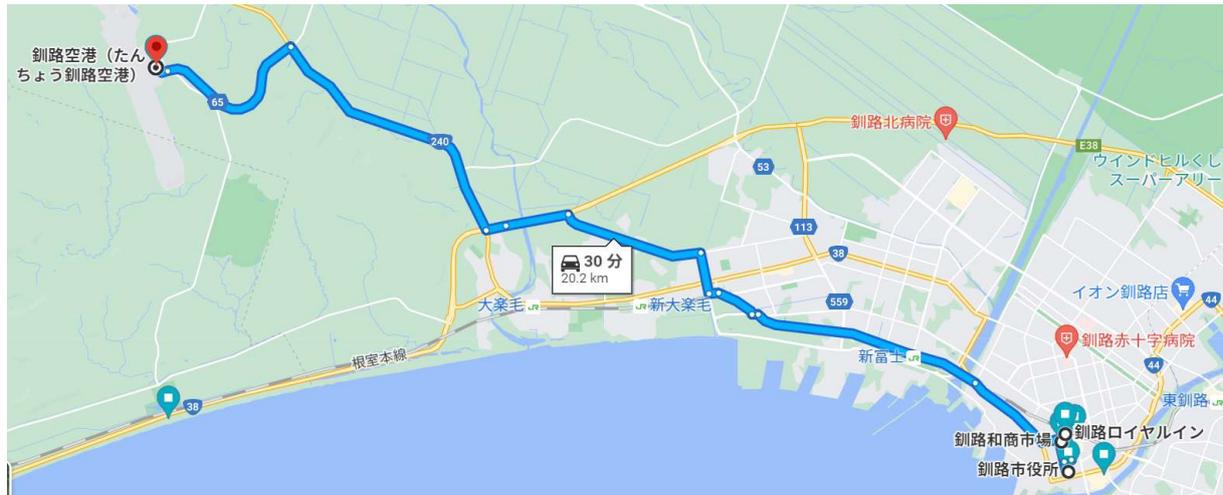
- 9:15 北海道大学集合（理学部3号館）
- 9:30～12:00 北海道大学（理学部3号館2F講義室）にて講演会
- 9:30～10:30 講演① 『千島海溝型巨大地震による想定津波と対策』
 講師：谷岡勇市郎 氏（北海道大学大学院理学研究院地震火山研究観測センター 教授）
- 10:40～11:40 講演② 『地震・津波による人的被害の季節変動性と減災対策』
 講師：中嶋唯貴 氏（北海道大学大学院工学研究院建築都市空間デザイン専攻 准教授）
- 12:30～13:15 昼食（北の漁場1号店）
- 14:30～17:00 平成30年北海道胆振東部地震 被災地調査（むかわ町、厚真町）
- 14:30～14:45 ①道の駅 あびらD51ステーション（K-NET追分（震度6強）、KiK-net追分（震度7））（休憩）
- 15:15～15:50 ②厚真町吉野地区（斜面崩壊現場）③富里浄水場（斜面崩壊現場）
- 16:20～16:35 ④鹿沼出雲神社・旧厚真町立鹿沼小学校（気象庁震度観測点：JMA厚真町鹿沼（震度7））
- 16:45～17:00 ⑤むかわ町役場東・ぼぼんた市場（K-NET鶴川（震度6強））（休憩）
- 18:00 グランドニュー王子（苫小牧市・宿泊）

(2)2022年10月7日(金)



- | | |
|-------------|---|
| 8:15 | ホテル出発 |
| 9:55~10:10 | 道の駅 サラブレッドロード新冠 (新冠町：休憩) |
| 10:55~11:10 | 道の駅みついし (日高町：休憩) |
| 13:00~13:50 | 昼食 (広尾町：丸美) |
| 13:55~14:15 | 十勝港 (広尾町) ※2003年十勝沖地震 (M8.0、津波高 2.5~2.8m)、東日本大震災 (M9.0、4.0~4.4m) の津波浸水被害 |
| 15:45~16:05 | 大津漁港 (豊頃町) ※2003年十勝沖地震 (M8.0、2.9~3.2m)、東日本大震災 (M9.0、4.3m) の津波浸水被害 |
| 16:35~16:50 | 道の駅うらほろ (浦幌町：休憩) |
| 17:50~18:00 | 道の駅しらぬか恋問 (白糠町：休憩) |
| 18:30 | 釧路ロイヤルイン (釧路市：宿泊) |

(3)2022年10月8日(土)



- 8:45 ホテル出発
- 9:00～10:30 釧路市役所訪問
- 9:00～9:50 講演③ 『釧路市の津波災害対策』
講師：佐々木和史 氏 (防災危機管理課 防災危機管理監)
石田貴志 氏 (同課 避難対策調整主幹)
島田勇氣 氏 (同課 課長補佐)
- 9:50～10:30 釧路市役所防災庁舎視察
- 10:40～ 和商市場 自由行動・解散①
- 10:40～12:00 和商市場 (自由行動)
- 12:00～ 和商市場出発
- 12:45 釧路空港 解散②
- 13:45発 (伊丹・関空着 (ANA・羽田経由))
- 14:00発 (関空着 (Peach))
- 14:35発 (神戸・仙台着 (ANA・千歳経由))